2025 SUPER GT RACE REPORT

TRS TOKYO RADIATOR IMPUL

SUPER GT 第4戦 富士スピードウェイ

8月3日 天候: 晴れのち曇り コースコンディション: ドライ

2025年度のSUPER GT第4戦が8月2日・3日に静岡県・富士スピードウェイで開催された。8月2日のレース1に続き、8月3日には50分間の時間レースとしてレース2が行われた。今大会はレース1とレース2はそれぞれ別のドライバーが公式練習から予選、決勝までを1人で戦うことになっており、TRS IMPUL with SDGのレース2には平峰一貴選手が出走した。

午前8時30分に公式練習が開始。平峰選手は40分間の混走と10分間の専有時間で24周を走行した。前日に抱えていたマシンの不調も改善が見え、1分27秒816というベストタイムは全体の5番手。まずまずの走り出しとなった。午前11時30分から10分間で行われた公式予選では、セッションが3分ほど経過したところでコースイン。計測4周目に1分28秒145というタイムをマークして暫定2番手。その後5台がこのタイムを上回り、平峰選手は7番手に後退。計測5周目にも連続でアタックし、セクター1、2と速いタイムを更新したものの、最終的には100分の5秒差で自己ベストタイムの更新はならず、午後の決勝レースは7番グリッドからスタートすることになった。

決勝レースは午後4時50分にスタート。この頃には上空を厚い雲が覆い、やや冷たい風が吹き始めた。気温は29度、路面温度は37度。近隣では降雨の情報もあったが、結局レース中は雨に降られることなく、ドライコンディションで50分間のレースが行われた。平峰選手はスタートから力強い走りで1台をかわすと、2周目に入った1コーナーでさらに1台をかわそうと、イン側の隙間に飛び込んでいった。2台は軽く接触し、相手はコースアウト。平峰選手はポジションアップしたが、のちにこの接触に対し、タイム加算のペナルティが科されることになった。

2周目を終えたところで5番手に上がった平峰選手は、ここから4番手のマシンとのバトルが始まった。この時点では1.4 秒あった両者の差は、12周を迎えたときには0.6秒まで縮まり、ここからは長いテールトゥノーズの戦いに。22周目に入った1コーナーで、平峰選手はブレーキング勝負を持ち掛けいったんは前に出たが、そこからの加速は相手が勝り、コカ・コーラコーナーでは順位を取り戻された。終盤は、再び拡げられた差をもう一度縮めようとプッシュを続けた平峰選手。その頑張りで6番手以下とのギャップを拡げられたことにより、チェッカーを受けたタイムに10秒を加算されたものの、順位は変わらず5位だった。







【コメント】

■TRS IMPUL with SDG 平峰一貴選手

バゲット選手のレースのときにトラブルを抱えていたこともあり、昨日からいろいろと仕様が変わった状態で公式練習をスタートしました。クルマは全体的にしっかり動いてくれて、特にトラブルなく練習を終えることができました。予選に関しては、タイヤの選択状況的に一発のタイムを出すにはあのあたりが限界でしたが、レースに向けてはいい位置を得られたなと。なんとかトヨタスープラ勢に食いつかなければと思って、スタートで1台抜けたのは良かったですが、そのあとは19号車と接触してしまい、ペナルティを受けることになりました。終盤までにギャップを拡げることができていたので、順位を落とさずにポイントを持ち帰ることができたのは良かったです。次戦の鈴鹿大会も、しぶとく戦っていきたいです。

■TRS IMPUL with SDG 星野一樹監督

まずは、接触してしまった19号車に対して申し訳なく思っています。あの接触で向こうは順位を下げてしまうことになりましたが、完全にこちらの過失。本当に申し訳なく思っています。それを除けば、今日も平峰選手は素晴らしいレースをしてくれました。ずっと39号車に食らいついていき、1秒もロスできないという中で戦い切ってくれて、本当に頑張ったと思います。あの根性が、彼の真骨頂。クルマに関しても、昨日のレース1を受けて、今日に向けてチームができる限りのことをやっていいクルマに仕上げてくれました。自分たちが今持てる力を全部出せたレースだったと思います。次戦も頑張りますので、引き続き応援をお願いします。

2025 SUPER GT

第4戦 富士スピードウェイ 8月3日 Photo Gallery















2025 SUPER GT

第4戦 富士スピードウェイ 8月3日 決勝レース2 結果



SUPER GT Race2 GT500

2025/8/3/9:20

FUJI SPEEDWAY Fuji Speedway(4,563m)

正式結果表

Weather: Cloudy

Track:Dry

Pos	No	Name	Car	Lap	Total Time	Ave. km/h	Diff.	Gap	Best Time	Lap
1	14	N. Fukuzumi	ENEOS X PRIME GR Supra	34	50'22.936	184.396			1'28.441	3
2	1	K. Yamashita	au TOM'S GR Supra	34	50'23.664	184.351	0.728	0.728	1'28.541	9
3	38	H. Ishiura	KeePer CERUMO GR Supra	34	50'43.444	183.153	20.508	19.780	1'29.041	2
4	39	Y. Sekiguchi	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	34	50'56.572	182.367	33,636	13.128	1'29.415	9
*1 5	12	K. Hiramine	TRS IMPUL with SDG Z	34	51'07.669	(50'57.669+10sec)	44.733	11.097	1'29.375	12
6 7	3	A. Miyake	Niterra MOTUL Z	34	51'12.215	181.438	49.279	4.546	1'29.442	10
	37	G. Alesi	Deloitte TOM'S GR Supra	34	51'12.537	181.419	49,601	0.322	1'29.390	14
8	64	R. Okusa	Modulo CIVIC TYPE R-GT	34	51'13.073	181.387	50.137	0.536	1'29.735	9
9	23	K. Chiyo	MOTUL AUTECH Z	34	51'16.550	181.182	53.614	3.477	1'29.495	12
2 10	24	T. Natori	REALIZE CORPORATION ADVAN Z	34	51'16.701	(51'11.701+5sec)	53.765	0.151	1'29,194	10
11	8	N. Matsushita	ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #8	34	51'20.414	180.955	57,478	3.713	1'29.679	8
12	100	N. Yamamoto	STANLEY CIVIC TYPE R-GT	34	51'20.736	180.936	57,800	0.322	1'29.686	13
3 13	17	K. Tsukakoshi	Astemo CIVIC TYPE R-GT	34	51'22.747	(51'17.747+5sec)	59.811	2.011	1'29.847	12
4 14	16	R. Sato	ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #16	33	50'28.327	178.643	1Lap	1Lap	1'29.679	21
15	19	Y. Kunimoto	WedsSport ADVAN GR Supra	33	51'29.839	175.087			2 1'29.669	25

****** 以上完走 (規定周回数: 23Laps) ******

Fastest Lap

1'28.441 (3 / 34)

185.737 km/h 14 N. Fukuzumi / ENEOS X PRIME GR Supra

Start Time :16:55'22 Finish Time :17:45'44.936

Entry:15 Start:15 Finish:15

Black and White flag Car.No.16 (走路外走行複数回) (17:05) (17:14) Car.No.3 (走路外走行複数回) (17:42) Car.No.37 (走路外走行複数回) (17:43) Car.No.3 (他車への危険行為) (17:52)

*1 CarNo.12は、タイムペナルティ10秒(SpR.13-1.a「他車への接触」)(17:14)
*2 CarNo.24は、タイムペナルティ5秒(SpR.13-1.b「他車をコースアウトさせた」)(17:39)
*3 CarNo.17は、タイムペナルティ5秒(SpR.13-1.a「他車への接触」)(17:08)
*4 CarNo.16は、ドライブスルーペナルティ(RD Note「複数回の走路外走行(5回目)」) (17:17)